

## 東アジア青少年平和・友好宣言文

今の東アジアの現状は、経済的視点で見ればお互い非常に密接な関係にあり、これからの経済発展においても欠かすことのできない大切なパートナーである。また、最近では東アジアで様々な形によるポップミュージックや漫画、アニメなどの文化交流も活発になってきており、ますます東アジアの関係改善が期待されている。

しかし、その一方で領土問題などの政治的問題や過去の歴史認識問題が東アジアの友好関係を築く上での障害となっていることも事実であり、それらの問題を解決することは、東アジアの青少年の共通の課題であり願いでもある。こうした現状の中で、私たちが置かれている環境は、東アジアの関係改善を考える上で良い環境とは言い難い。

なぜなら、私たちの周りには大量の情報がひしめき合い、その中には誤った情報や偏った情報も存在しているからだ。私たちの思考力や判断力には限界がある。そういった情報をすぐに受け入れ信じてしまう危険性がある。それだけでなく、歴史を学ぶ目的も「入試や試験のため」といったように本来の学びの環境は決して整っているとは言えない。

このキャンプで、そういった状況に置かれた私たちは、お互いの国の青少年たちと一緒に交流し学んで、今までの先入観や価値観をもう一度見直す機会となった。このキャンプで私たちは、より広い視野で物事を見られるようになったことを確信し、将来私たちがお互いの連帯を強め東アジアの未来の平和をつくる架け橋となることを決意して、東アジアの平和と友好のために、以下のことを世界に呼びかける。

### 【行動指針】

- (1) 平和な東アジアを築くために、このキャンプのようにお互いが意見を交換し、相手の価値観や文化を尊重することのできる機会を増やし、交流の輪を広げていく。
- (2) 自ら積極的かつ理性的に、事実に基づいて歴史を見つめていく。
- (3) 歴史をともに学び、歴史に対する理解を深め、このキャンプでの学びを様々な形で社会に発信していく。
- (4) これらの実現には様々な困難が予想されるが、我々青少年の結束を強化し、我々自身の力で東アジアの平和の実現に向けての問題を解決し、真の平和の実現に向けて努力し続けることを誓う。

2013年8月11日 第12回東アジア青少年歴史体験キャンプ参加者一同